

みはら  
MIHARA

VOL. 52

あなたと  
議会を  
むすぶ

# 市議会だより

平成30(2018)年5月1日



「須波海岸に行くマリンビュー」呉線は海岸沿いを走り鉄道ファンにも人気の路線です。  
(撮影者：三原市老人大学 清政 健一さん)

## 今号のもくじ

ページ	主な内容
2～3	平成30年度予算概要
4～5	補正予算・議員全員協議会の概要
6～14	総括質問16名の議員が質問
14	駅前東館跡地活用調査特別委員会中間報告(要約)

ページ	主な内容
15	常任委員会報告
16～17	市民と議会をつなぐ意見交換会
18～19	定例会議決結果
19	次回定例会開催予定
20	わがまちに望む夢

元気な三原を実現するために、「みはら元気創造プラン」で定める「活力づくり」と「安心づくり」を柱とした「次世代に夢をつなぐ積極予算」として提出された

# 「平成30年度一般会計・特別会計・企業会計の予算」

第1回定例会は2月27日に開会され、平成30年度一般会計（476億7800万円）・特別会計（267億1900万円）・企業会計（52億8131万円）の予算と関連議案について、3月12日から16日の5日間、予算特別委員会で慎重に審査した結果、全会計の予算と関連議案が可決となりました。審査の過程において多岐にわたる質疑が行われました。

## 【総務費】 予算特別委員会（質疑の抜粋）

防犯灯維持管理事業について

問 防犯灯の取り付けのプロセスはどのようになっているか。

答 新規取り付けの場合、町内会長等からの申



LED防犯灯

請により設置基準に基づき公費で設置し、維持管理費（電気料金）は町内

会の負担となっている。

町内会等の電気料負担の軽減を図るため、市内全

域の蛍光管防犯灯をLED

D防犯灯に交換している。

災害時一斉情報伝達手段整備事業について

問 コミュニティFM放送の難聴区域の解消をどのように考えているのか。

答 難聴区域の対策としては、まず難聴地域の調査を実施し、状況を把握した上でそれに適した具体的な実施設計業務を行

う。ハード整備については、平成31年度以降を考

えている。

## 【民生費】 産後ケア事業について

問 本市が行う産後ケア事業の対象者など実施内容はどうなるものか。

答 産後8週以内の乳児

のいる母親で、十分な家事や育児の支援を受けられず、医療機関等が、帰宅後の養育が困難と判断した人を対象に、医療機関等に宿泊しケアを受けることができる。

不燃物処理工場更新事業について

問 29年1月30日に行われた全員協議会で基本構

想で24億7900万円と説明があったが、30年度予算では増額している。どこがどれだけ増額したのか。

答 先行事例を参考にした概算よりも増額した要因は、労務費、資材単価の変化が考えられる。具体的には機械設備費が11億円から12億円に、土木工事費が8千万円から2億9千万円に、建築工事費が12億円から14億3千万円に増額している。

設計施工一括契約に進む前に、収集の見直し、直接搬入の際の進入

路等をどのように整理し、決定後はどのように市民に周知していくのか。

答 今後は、広域事務組合での説明に努め、承諾をいただくとともに、本市議会でも説明に努めた

い。市民に対しては生活環境推進員の研修や、出前講座、ホームページ等を活用して周知していく。

長期総合計画に記載されていない不燃物処理工場がいきなり全員協議会で説明された。

準備不足ではないか。

答 不燃物処理工場は長年の課題と捉えている。施設の老朽化への対応、作業動線の改善による作業効率の向上と安全

性の確保等、新規建設することで、解決できる課題が多くある。

また、借入れ条件の有利な合併特例債を使って事業実施できることが分かり、早期に課題解決すべきと考えている。

問 総事業費29億7千万円のうち、本市の負担は17億2千万円で、うち国の交付税が9億6千万円であるため、実質的な市の負担額は、7億6千万円の間違いないか。

答 間違いない。

【農林水産業費】  
高坂自然休養村リニューアル事業について

問 この事業について斎場建設の見返りではないのか。

答 誰が・何を・どのようにするのか。

これから先のコストは。

答 斎場建設以前からまちづくり戦略検討会議からも指摘され、地元要望でもあった。

地元と一緒にノルディックウォーク・蓮根掘りなどソフト事業を行ってきた。今後も連携

図

図

図

図

図





高坂自然休養村キャンプ場

がるため。②事業所の都合ではないと聞いているが、追跡調査に努める。

### 中心市街地新規出店家賃補助事業の増額

実績はどうか。

22年度からこれまで52店舗開業し11店舗が廃業し、補助要件の昼間の営業をやめた店舗が15件ある。そのため補助期間を12カ月から36カ月に延長する。

### まちづくり会社の予算の増額

予算増の理由は。

職員を常勤にして機能を高めるため。

### 消費生活センター出張相談の予約制

本郷・久井・大和町でも曜日を決めて定例化できないか。

ニーズに応じて効率を上げるために改めた。

### 【土木費】

#### 道路橋梁費について

横断歩道のラインが消えている。道路管理者としてどう考えるか。公安委員会に強く要望して

はどうか。

横断歩道は県公安委員会の管轄であるが、要望していく。

### 交通安全施設設備費の内訳とは何か。

区画線、ガードレール、カーブミラーなどだ。

横断歩道のラインが消えているところが目につく。常にくっきり見えるようにしてほしい。

県道について、市としては、県と当年度の事業調整会議を開いて要望している。

### 橋梁長寿命化の担当職員数は何人か。

本庁8人、支所3人でやっている。

### 【教育費】

#### 空調設備整備基本計画策定業務委託について

空調設備の基本計画策定委託と実施設計業務委託の違いは。

30年度で、小中学校、幼稚園も含めて基本計画を策定していく。実施設計は発注できる仕様の基になるもの。発注する前段まで来年度中学校の普通教室は着手したいと考えている。

### 【特別会計】

#### 国民健康保険特別会計について

#### 国保運営の運営主体が県単位で行われることに伴い、市独自事業である、はり・きゅう施術費を廃止する理由と今後の対応についてどうか。

市独自事業を継続した場合、県共通の任意給付でないため事業費納付金の算定対象にならず、財源の問題が生じることになる。なお今後は、データヘルズ計画に基づいた保健事業を重点的かつ効果的に実施していきたい。

### 【討論・採決】

#### 【討論】

予算特別委員会で審査された42件の議案のうち、一般会計、国民健康保険（事業勘定）特別会計、水道事業会計の各予算ほか3件の関連議案について反対討論が、全議案について賛成討論が行われた。

#### ・反対討論

駅前東館跡地活用事業など複数の大型事業の推進は市の財政を逼迫するものであり、市民合意が得られていない。また、県単位での国民健康保険の運営が始まるにあたり激変緩和措置があるとはいえ、今後被保険者の負担増が見込まれること。また、水道料金的大幅な値上げに伴い、市民生活を圧迫する。

#### ・賛成討論

複数の大型事業が推進されることに伴い、厳しい財政事情が懸念されるところではあるが、長期的視点をふまえた適切な予算編成である。

#### ・反対討論

不燃物処理工場建設など大型事業の推進に伴い借入超過となる。一方で、経常経費を圧縮する予算案であり、持続可能な財政運営ではない。

#### 【採決】

討論された議案第1号は5件は、起立採決の結果、賛成多数で可決。ほか3件については、全員一致、原案どおり可決した。

※採決の結果は、18・19ページ及び三原市議会ホームページ内の「議決結果」をご参照ください。



# 補正予算特別委員会(質疑の抜粋)

今定例会では6888万円の一般会計補正予算(第5号)をはじめ、11の特別会計補正予算を含む12議案を審査し、それぞれ可決、認定しました。以下では、補正予算特別委員会での主な質疑の内容を紹介いたします。

## 【総務費】

ふるさと納税推進事業費について

問 ふるさと納税寄付金に対する事務委託料及び事務手数料ならびに「ふるさと夢基金」積立金の相互関係はどのようになっているか。

答 ふるさと納税寄付金に対し、50%相当の返礼品を含む62%の事務委託料と郵便料等の手数料を差し引いた残りを「ふるさと夢基金」に積み立て

ている。

問 ふるさと納税寄付金が減少した理由とその対策についてどのように考えているか。

答 ふるさと納税は任意の寄付金であり、市町間の競争が過熱していること、総務省が返礼の割合が高いものや高額なものは返礼品として適当でないとする通知をしたこと、さらに本市の返礼品が固定化していることが原因と思われる。今後は

「ふるさと夢基金」を活用した事業の成果を積極的に公開し、本市の魅力

をPRしていきたい。

## 【民生費】

私立保育所運営助成事業費について

問 保育所費と認定こども園費についてそれぞれ利用者が見込みより少ないため減額するとの説明があったが、利用者数の状況についてどうか。

答 保育所について、年度当初は、延べ5496

人の利用者を見込んでいたが年度末の見込みは延べ5246人で250人の減。また認定こども園については年度当初は、延べ7020人の利用者を見込んでいたが、年度末の見込みは延べ6877人で143人の減となるため、このたび減額している。

## 【教育費】

施設整備事業費について

問 小・中学校のトイレの洋式化とフロアの乾式化に必要な改修工事に係る今後の予定はどのようなになっているか。

答 平成30年度に中之町小学校、沼田小学校及び本郷中学校の工事を完了

し、31年度には幸崎小学校と久井中学校の工事を完了する予定である。設計等が済んでいない、西小学校、深小学校、糸崎小学校及び第三中学校については、32年度を目標に工事を完了する計画である。

## 【討論・採決】

【討論】

補正予算特別委員会で審査された議第43号及び議第51号について、反対の討論が行われた。

## ・反対討論

大型事業推進に伴う地方債の繰り上げ償還に貴

重な一般財源を充てること、また、国民健康保険の剰余金等を税の負担軽減に活用せず、基金に上乘せをするといった財政運営は望ましくない。

## 【採決】

討論された議第43号及び議第51号は、起立採決の結果、賛成多数で可決。ほか10件については、全員一致、原案どおり可決した。

※採決の結果は、18・19ページ及び三原市議会ホームページ内の「議決結果」をご参照ください。

## 議員全員協議会の概要

市長要請による議員全員協議会が1月17日、3月19日に行われ、「円一官庁街エリアの公共施設再編成方針(案)」について「ほか13件の説明があり、質疑応答が行われました。」

※議員全員協議会とは・・・市から提出された議案を審査する委員会とは違い、市が行政上の重要問題等について、議会の意見を聴くための協議会のこと。

## 円一官庁街エリアの公共施設編成(案)について

【概要】円一エリアの一体的な再編が必要となる

ため、7つの公共施設の概要説明があった。

問 旧消防庁舎と円一町駐車場を解体して平面的な使い方をするという考

え方が示されているが、定期利用の在り方も含め今後の考えについて問

答 円一町駐車場の使用

## 高坂自然休養村リノベーション基本計画の見直しについて

【概要】「ふるさと高坂佛通寺活性化協議会」を設置して地元の意見収集をし、公共施設等総合管理計画の指針をふまえた上で、27年2月に説明した計画を見直した。

問 公共施設の見直しをしている最中の投資であ

り、整合性はあるのか。答 環境保全・観光農業推進・都市住民の憩いの場を提供するという休養村は、市内に1か所だけであり、北部エリア機能の活性化と、南部エリアは機能を変更し、活用を検討する。

問 事業体制は大丈夫か。答 2年かけて準備してきた。

**問** 指定管理でコストが下がるか。  
**答** 現状を超えない。

## 尾道糸崎港松浜2工区 に関する土地利用計画 の見直しについて

**問** 松浜地区活性化協議会では、どのような協議がなされたのか。  
**答** 協議会は既に解散しており、また、計画区域は変更となるが、内容は変更しないため協議は行っていない。

**問** 市は、観光拠点とするとやっているが、ここがどうやったら、観光拠点になるのか。  
**答** 瀬戸内海を望む開放感あふれる臨海部というロケーション特性を生かし、市中心部とは違う賑わいづくりに取り組んでいきたいと考えている。

## 敬老会事業等の見直しについて

**問** この事業の見直しを町内会へはどのような説明をしていくのか。  
**答** 高齢者人口の増加に伴い地域包括支援セン

ターの相談機能や民生委員の見守り体制を充実させていくことを説明し、理解を求めていく。次年度予算については再検討する。 ※このことについては、2月定例会では議案提出されていない。

ターの相談機能や民生委員の見守り体制を充実させていくことを説明し、理解を求めていく。次年度予算については再検討する。 ※このことについては、2月定例会では議案提出されていない。

ターの相談機能や民生委員の見守り体制を充実させていくことを説明し、理解を求めていく。次年度予算については再検討する。 ※このことについては、2月定例会では議案提出されていない。

## 清水南山遺品の寄附受納 及び検証について

**【概要】** 清水南山の遺作1115点が孫の田島能子さんから本市に寄附されたので特別展覧会を開催する。

また、清水南山を特別功績者として顕彰する。

## 施設類型別実施計画(案)について

**【概要】** 社会教育系施設、スポーツ・レクリエーション系施設、保健・福祉施設、その他施設の実施計画(案)

**問** 市民福祉会館は廃止予定だが、150人収容のホールは駅前西館へ移転可能か問う。  
**答** リージョン中講堂、中央公民館等の利用で対応したい。

**問** 平成31年度以降のゆめキャリアセンターはどうするのか。  
**答** 労働者のための講習施設としては他施設で対応できているので、民間活用も含めて検討する。

**問** 内港、港湾ビルは中心市街地の活性化と繋がりが強いので一体として考え、開発すべきではないか。  
**答** 駅前東館跡地活性化事業と関連づけて行っていく。

## 第2次三原市環境 基本計画について

**【概要】** 三原市が抱える

環境を見つめ直し、今後の新たな10年間を見据えた環境の保全及び創造に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための計画。

**問** オール三原で環境保全活動に取り組むまちづくりについて活動状況は、どうなっているのか。  
**答** メンバーの固定や高齢化で活動が低下している。新しいメンバーの加入や人材育成をし、活動を活性化していきたい。

## 三原市都市計画マスター プラン(案)について

**【概要】** 人口減少・少子高齢化の進行、防災意識の高まりなど、社会環境や住民意識が大きく変化していることから、22年に策定した都市計画マスタープランを次のように改定する。

「安全・安心・快適、そして元気に住み続けられるまちづくり」を目指す

- ① 土地利用の方針
- ② 都市施設の整備方針

- ③ 市街地の整備方針
- ④ 自然環境・景観の保全・形成の方針
- ⑤ 安全・安心なまちづくりの方針

以上5項目による分野別方針と、本市全体を①三原中央地域(沼田川より北部地域)②三原南部地域(沼田川より南部地域)③本郷地域④久井地域⑤大和地域と5地域に区分し、各地域の特性・課題を踏まえて、目標とする将来像を設定する。

## 三原市汚水処理施設整備 計画の策定について

**【概要】** 国からの要請に対し、22年度に策定した「三原市公共下水道事業基本計画」の見直しを図り、38年度末での下水道整備率95%以上となるよう下水道整備区域を縮小し、整備区域等を示すもの。



佐木島診療所

**問** 今後、計画を期待されている市民の周知などどのようにされる予定か。  
**答** 市のホームページ・広報でお知らせし、また地域に出向き、出前講座など活用し周知していきたい。

## 佐木島診療所の 運営について

**【概要】** 30年4月3日から診療を開始する。診療日数は週2回の火曜日、金曜日の午後。秋以降、医療機器の整備完了後には、診療日数増の予定である。診療科目内科・外科。

平成30年第1回定例会  
総括質問

# 市政を問う

今定例会では3月7日、8日、9日に総括質問が行われ、16人の議員が質問に立ちました。その主な内容を、紙面の都合上、1人2項目以内に要約して掲載しました。掲載事項は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

詳細な内容は、会議録を製本の後、三原市議会事務局、市役所情報公開コーナー、三原市中央図書館に置いています。また、三原市ホームページでも閲覧できますのでご覧ください。(会議録の製本には、議会終了後おおむね3カ月を要します。)

HPアドレス <http://www.city.mihara.hiroshima.jp> → 市議会 → 会議録検索  
映像ライブラリー



しょうだ よういち  
正田 洋一 議員

## 不燃物処理工場建設における課題について

**問** 平成30年度予算に不燃物処理工場の建設予算が計上されている。本件は広域事務組合事業だが、予算を拠出する本市において、市民合意、議会承認プロセスについて聞く。

資源化ごみの収集方法及び場所、持ち込み環境について、どのように市民合意を得るのか。また、23億から29億3千万へ建設予算が変更になったが、基本計画すら説明されていないと考えるが、どうするか。

**答** 資源化ごみの収集方法は、31年にモデル地区で施行できるよう調整する。持ち込み環境については、生活環境推進員研修を通じて、市民に意見を聞く。また、市広報、ホームページ、環境カレンダーなどの媒体を活用する。

不燃物処理工場の更新

事業は、広域事務組合事業であるが、本市議会においても理解を得なければならぬ。建設予算等に係わる、仕様書などの基本設計は、3月末に完成のため、4月以降に説明する。

**問** 市民合意の詳細について聞く。市広報、ホームページなどの媒体がベースになっているが、その媒体では足りない。説明ではなく、合意であり、一定の時間を要して理解を得る必要がある。また、収集運搬の方法が変わるが、業者との合意形成も必要だ。

市議会との合意形成について、1、2回の議会説明で済ませる事案で

はなく、慎重に諸課題を解決していく必要があるかどうか。

**答** 市民合意については、生活環境推進員研修や出前講座などの場において、丁寧に説明していく。業者については、引き続き協議を行い、30年度中にとりまとめる。市議会には、議員全員協議会などにおいて、説明に努める。

**問** 消えたアルミ缶問題について、広域事務組合議会において、この問題が解決するまで予算執行すべきでないとの意見が出たが、重く受け止めないのか。

**答** 不燃物工場更新とアルミ缶問題は別問題であると考える。



ごみの正しい出し方が変わる?



たかき たけこ  
高木 武子 議員

## 駅前東館跡地の活用について

**問** 図書館と民間施設による活性化の可能性について問う。

**答** 市が所有する図書館は、他都市においても移転により、集客力の高さを地域活性化に活用している。本市も現図書館の1・5倍から2倍を見込んでおり、人の流れが駅前を中心生まれる。

**問** 合わせて民間施設のホテル、スーパード等と周辺を含めたエリアマネジメントの実現などで、活性化と将来にとって価値ある事業と捉えている。

**答** 広場が分散しているが、どう使うのか問う。  
**答** イベントの多くが引き続き実施でき、オープンカフェなど憩いの場・交流の場となるよう取り組む。

**問** 民間施設の実施事業の内容について問う。  
**答** スーパーは、フレスタが運営し、都市型スー

パーを想定している。保育所・サテライトスタジオ等は特定事業者との調整や協議を経て詳細を決定する。

**問** 図書館のあり方については市民の意見を聞くべきである。契約を急ぐ必要性があるのか問う。

**答** 新たな図書館のあり方について、利用者・市民の声を聞いてきた。図書館のあり方について市民の声を反映させた基本計画になっている。

**問** 契約については、中心市街地活性化基本計画においても核となる取り組みであり、有利な国庫補助事業の平成30年度からの活用なども整理し、早期に実現することが必要である。

**問** 高坂自然休養村の基本計画について  
改修による管理セン

ターの機能アップについて、費用対効果はあるのか問う。

**答** 費用対効果は示せる段階ではないが、現在の年間の利用客数は約1万9千人であり、基本計画のソフト事業見直しにより2万5千人を目指す。

**問** 南部エリアの機能を変更新理由を問う。

**答** 南部エリアはキャンプ場や広場が存在して自然が楽しめる場としているが、市内に同様の施設があるキャンプ場は31年度に廃止する予定である。

南部エリアの一部は、佛通寺への遊歩道に接続しており、観光客を誘導し増加につなげる。



高坂自然休養村いこいの池

## 総 括 質 問

## 中山間地域活性化事業について



すぎた たつじ  
杉谷 辰次 議員

**問** 中山間地域として24地域が設定されている中、平成29年度末で18地域が「地域計画」を策定し、それぞれの計画に基づいて活動を実施している。

**答** そんな中、30年度で「地域計画」を策定して5年目を迎える地域が4地域あるが、6年目以降の行政のサポートはどのように考えているか問う。

**答** 地域計画策定後の取り組みは、地域間の違いはあるものの、どの地域においても計画の実践に向けた協議が継続され、多様な取り組みを実施しており、地域の活性化に向け一定の成果が伺える。

**問** また、将来の自主自立した活動の実現を目標に、初期の活動を促進するため、5年の期間を設定し財政支援をしてき

た。

今後は、30年度新規事業として「中山間地域コミュニティビジネス支援事業」を掲げ、収益を生み出せる自立的な活動を支援するとともに、これまでの成果や活動の状況を検証し、効果的な支援に取り組み。

**問** 介護予防・日常生活支援総合事業について

**答** 介護保険制度の改正に伴い、住民主体による「介護予防・日常生活支援総合事業」が29年4月から開始されたが、地域で取り組みされている「サロン」や訪問型「お助け隊」を市全域に広げていく方が、より効果的に思うがい

が。

**答** 地域の実情に応じた多様な主体による支援体制の構築が必要であり、現行のサロン活動は、地域にとって貴重な集いの場と捉えており、住民主体による通所サービスと同様に居場所や集いの場として効果があると考えている。

また、本市では現在、生活支援体制整備事業で、高齢者の抱える日常生活上の課題解決に向け、協議体（地域福祉ネットワーク会議）の設置に取り組み、地域住民をはじめ関係者で協議を行っている。





陶 すえ  
のりあき  
議員

## 平成30年度予算編成方針と施政方針について

**問** 本郷産業団地の工事の進捗状況、アクセス道路三原本郷線、誘致企業の状態については。

**答** 造成事業は、第一期分の工期を平成32年9月末までとし、3月から防災工事、10月には、のり面工事などに入る予定。

**問** アクセス道路については、西野大西地区では、本年度も引き続き、山腹の切り土やのり面等の工事、小坂町引迫地区では、水路盛土等の工事を行う。

**問** 高坂町真良地区では来年度工事着手する予定。誘致企業の状態については、3月下旬の審査を経て、4月以降に決定した企業と立地協定を提携する予定。

**問** 次期観光戦略プランの策定について、築城450年事業の成果と課題を踏まえ次期観光戦略プ

どこに避難するか日頃から話し合いをして、自ら身を守ることができるよう準備をお願いしている。



市民防災訓練(高坂町防災会)

## 広島空港民営化に伴う課題と対策について

**問** 中四国の中核空港である、広島空港利用者増加のための交通アクセス向上対策に、リーダーシップをとって取り組むべきでは。

**答** 市長が会長を務める、広島空港周辺の4市2町で構成する、広島臨空広域都市圏振興協議会の活動など、広島空港の活性化が広島県及び本市の活性化につながるよう取り組んでいく。

**問** 緊急時避難所に指定している125の施設のうち、62施設はすべての災害に対応している。災害の種類によって、

## 総 括 質 問



平本 英司  
ひらもと えいじ  
議員

## リージョンプラザにあるトレーニング器具の更新について

**問** トレーニング器具も年々新しいものが開発され、都市部に行けば、民間を含め多くの施設が開設されている。しかし、リージョンプラザのトレーニング器具は、20年前とほとんど変わっていない。

**答** 筋力アップ系の器具、健康器具は、そろそろ更新するべきと考える。また、イチロー選手が使用している、初動負荷の器具等を導入すれば、他市からも人を集めることができるかと考えている。

**問** ①入場者数の状況は。②利用者平均年齢は。③利用者アンケート等には取っているのか。④器具の更新状況は。

**答** ①平成28年度は2万4151人。②平均年齢は把握していないが、45歳以上の利用者が70%以上である。



33年経過したトレーニング器具

**問** ③器具を新しくしてほしいとの回答が33人23%。④14台は当初から設置された33年が経過した古い型式の器具のため故障が多く、修理にも時間を要する。

**答** トレーニングルームの、器具の更新は必要であると考えているが、更新には、多額の費用を伴うので、財政面の検討や指定管理者との協議も踏まえ、計画的に取り組んでいく。

## 施設の設置及び管理条例について

**問** A団体が講演会を予定していたが、その後、講師の都合で日程を変更することになった。

**答** 3週間前に担当課に行き、日程の変更を申し出たところ、事前に納めたお金は返金できないと言われた。根拠は、条例に記載されていた使用料の還付等で、既納の使用料は還付しないという文言である。規則でうたっていない以上、他のルールでお金の納入時期やキャンセル料についても定める必要があると思うがどうか。

**問** 予約利用の多寡、屋内、屋外の別など、施設の対応を踏まえつつ、文化施設、学習施設や体育施設などの公の施設の使用料の納付及び還付に関する、統一的就体的な運用方針の作成を検討していく。

## その他の質問事項

●ふるさと納税について  
●イベント・お祭り等のマネジメントについて





かむら ひろし  
加村 博志 議員

## 駅前東館跡地の 広場面積の拡大を！

### 問

① 駅前広場のバスプールの南側に以前は歩道橋があったが、今では撤去され、乗降場の南側は南北に15m程度の広場となっている。5m程度歩道として残り、市道城町1号線を北側へ9m寄せ、バスプールの形状を変更することにより、東館跡地北側に660㎡程度の広場面積が確保できる。

また、城町1号線の左折車線を廃止すれば300㎡程度確保でき、広場面積を拡大できるか問う。

② 現在のJRW西日本と本市の駅前広場の管理運営及び管理費の状況は。

③ 駅前広場のバスプールの変更、市道城町1号線の法線の変更に伴い、JRW西日本やバス会社等の関係機関との協議の課題は。

④ 駅前広場及び市道の都市計画の変更の手順や問題は。

⑤ 今年度、「駅前東館跡地等周辺道路の整備」として測量・設計費が予算化されているが、市道城町1号線の道路法線の変更を配慮してはどうか。

⑥ 駅前広場内のバスプールを改修し、停留所や待機所、バス運行の見直しが必要になる。左折車線の廃止は、交通量や道路構造等から、必要性は低く廃止可能と考える。

⑦ 協定に基づき市とJRW西日本の両社で維持管理、運用、占用許可等を行っている。管理費は562万円でその内JRWの負担額は64万円である。

⑧ バス業者との協議は東京や広島空港行きが利用する1番のりばやバス待機スペース等の問題がある。

る。公安委員会との協議では道路法に基づく交通安全上の支障の有無などが課題になる。国土交通省とは駅前広場、市道城町1号線の整備を国庫補助金事業で実施しているため、財産処分について協議する必要がある。

④ 都市計画変更は広島県との協議、住民への説明、縦覧、都市計画審議会への諮問が必要である。

⑤ 市道城町1号線の道路法線の変更を視野に入れ測量・設計を実施する。

駅前前の賑わい・交流拠点の機能強化には有効な手段であり、実施に向け関係機関との協議・調整を始める。



市道城町1号線の法線変更を

## 総 括 質 問



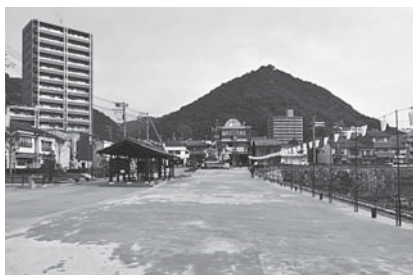
きむら ひさと  
木村 尚登 議員

## 三原城跡公園について

### 問

一年間公園を活用した上で見えてきた課題は何か。また、広場の火気使用などの規制を緩和し、駅前広場でイベントの利用ができないか問う。

② 課題としては、三原かがり灯プロジェクトなど公的な利用が多く、民間の利用は数件という状況であった。また、文化遺産の保存を脅かす行為・行事は文化財保護法・三原城跡歴史公園設置及び管理条例で禁止されており火気の使用禁止



三原城跡公園広場

や車両乗り入れ禁止など一部制限があるが、提案された利用について許可基準を設定できるか調査研究し、検討したい。

③ 鯉の管理のありかたと、餌やり場・船着場の設置を早急に進めてほしい。

④ 市民の方々にも錦鯉の餌やりや鑑賞をより楽しんでもらえる方策として、錦鯉の鑑賞の場・餌やり場及び船着場を兼ねた水上デッキ設置の要望をもらっている。しかし、史跡内の水上デッキ等工作物の常設は、文化財保護法における文化庁の許可が必要であり、設置の必要性、史跡保存や景観への配慮等をふまえ、保存整備委員会等で計画を策定することが条件となる。教育委員会としても、水上デッキの設置は、濠内の浮遊物除去、水質保全管理時に

は、ボートの発着場も必要と考えているので、手続きを踏みながら進めていきたいと考えている。

## 広島県魅力あるまちなみ作り支援事業について

### 問

本町西国街道地区として広島県のモデル地区に指定され、本市の計画において歴史や街並みを活かした取り組みが必要な地区と位置付けられているが、本市の思い描く計画を教えてください。

④ 市中心部のグランドデザインにおいては、小路・古民家の活用地域として、街並み保存とデザイン等に配慮した魅力ある景観形成を図る地域と定めている。西国街道である市道本町45号線は都市計画道路として将来的に16メートルへの拡幅が計画されているが、16メートルでの事業化は困難な状況である。基本方針を策定し、統一感ある景観整備、道路整備を進めることにより、地区全体の回遊性の向上を図り、にぎわいの創出をめざす。



みやがき ひでまさ  
宮垣 秀正 議員

## 住民組織、町内会・自治会について

**問** かつては、隣近所の助け合いがあったが、現在は、少子高齢化により、核家族化が進み、老夫婦、独り暮らしが増加し、人のつながりが、きずなが薄れていると感じている。そこで、住民組織加入率の推移について問う。

**答** 市全体の加入率は、平成25年度が70・7％で29年度は3・2ポイントの減少した。三原地域では3・1ポイント減少、本郷地域は5・1ポイント減少、久井地域は3・0ポイントの減少、大和地域は0・8ポイントの増加となっている。

**問** 住民組織に加入しないマンションやアパートの住民が増えている。住民組織の必要性、重要性を説明、理解していただく取り組みが必要ではないか。

**答** 加入促進の取り組みを進める必要がある。現在、住民組織の加入促進リーフレット配布の準備を進めている。

**問** 現在、住民組織、町内会役員の担い手が少なく、未加入者が増加している。住民組織の弱体化・地域の弱まりに直結し、市の活性化の大きな障壁になりかねない。大きな問題であり、どのように考えているか。

**答** 地域で暮らしをより良くしていくために、支えあいながら地域づくりを進めることが必要である。今後とも、地域における住民自治の充実を図り、市民協働のまちづくりが進むよう取り組む。

**問** 住民組織の加入率は約7割である。市からの重要な回覧、防災・防

犯、ごみステーション管理や回収など、加入は任意であるとはいえ、未加入者対策はどうなっているか。

**答** 防災については、市民を対象とした講演会や体験会など行っている。ごみステーション設置・管理について、未加入者の対応は、各住民組織で異なっているのが現状である。市からの情報提供は、住民組織に依頼している。未加入者は市のホームページの発信情報を任意に取得されている状況であり、課題がある。住民組織の果たす役割は大変大きく、住民組織加入促進に、より一層取り組んでまいりたい。



加入促進リーフレット

## 総 括 質 問

## 「観光のまち三原」実現のための取り組みについて



たなか ひろき  
田中 裕規 議員

**問** 人口減少やインバウンド需要の高まりなど環境変化により、観光振興組織を再編成する動きが出ている。本市の観光課と観光協会の役割分担、また商工振興課や商工会議所との連携体制はどのようになっているのか。

**答** 観光協会は、観光案内の総合窓口として、また観光資源を活かした事業展開や市内各観光事業者の受入れ機能の役割を担っている。観光課は、観光振興の推進計画を作成し、認知度向上のための情報発信や各種イベントの側面支援、観光施設の整備や管理の役割を担っている。

**問** 人口減少やインバウンド需要の高まりなど環境変化により、観光振興組織を再編成する動きが出ている。本市の観光課と観光協会の役割分担、また商工振興課や商工会議所との連携体制はどのようになっているのか。

**問** 全国でも稀な本丸の中にある三原駅を、JRと市の連携で駅構内や通路を城郭風に装飾し、インスタ映えする駅として、観光客を誘致する取り組みをしてはどうか。

**答** 駅構内から天主台跡入口がわかりづらい、また暗いなどの意見があり、JR三原駅と協議し、装飾や空きスペースへの資料展示などを進めている。駅利用者を三原城跡へ誘引し、さらには駅周辺の神社仏閣や本町の町並み等へも訪れてもらうなど、来訪者の滞在時間を延ばす仕掛けを考えていく。



三原城天主台跡入口



まさひろ ともはら  
政平 智春 議員

## 災害時、市職員の配置は？

**問** 大規模災害が発生した場合、それに対応する職員の体制はどのようになっているか。全ての職員が災害に対応できるように迫られるが、その体制は構築されているか。

次に、災害対応と同時に、市役所としての機能を継続する業務継続計画はどのようになっているのか。

**答** 本市では、平成23年9月に三原市災害対策行動要領を策定し、職員の参集及び配備基準を定め、職員がとるべき行動について示している。配備体制については、災害ごとに注意体制、警戒体制、非常体制の3段階とし、それぞれの体制において担当各課の任務を定めており、任務に応



## ボランティア受付

じた行動をとるよう定められている。

本年度三原市大規模地震時の業務継続計画を策定した。この業務継続計画は、地震等の大規模災害が発生した場合に、市民の生活に密着した継続すべき通常業務へ限られた資源を集中して早期の復旧を図ることを目的としている。

## 男女別名簿は何のため？

**問** 現在小・中学校の出

席名簿が男女別々の名簿になっている。いつごろ男女別々の名簿にしたのか。また、メリット、理由は何か。

LGBTで悩む人が大勢いるということが明らかになっている。児童・生徒がカミングアウトしてきたら、どのように対処するのか。

**答** 男女別名簿を採用している学校がある理由は、体育や健康診断、宿泊を伴う校外活動などにおいて男女別の名簿を使用すること。またクラス分けや班編成等男女バランスを考慮すべきことがある。いつごろからか正確な把握はしていない。

LGBTとしてカミングアウトしてきたら、校内に支援会議を設置し、情報の共有を図り、教育委員会と連携をし、専門家を交えたケース会議やサポートチームを立ち上げ、当事者や保護者の意向を踏まえ、適切に配慮し、取り組む必要があると考えている。

※LGBTとは、性的少数者を指す言葉。

## 総括質問

## 地域生活支援拠点等の整備について



こだま けいそう  
児玉 敬三 議員

**問** 国の障害福祉計画等と基本指針において、第4期の平成29年度末までに各市町等に少なくとも一つを整備することとなっているが①本市の取り組みはどうか②整備内容を検討する協議会の設置はどうか③整備手法についてどのような形を考えているのか問う。

**答** ①緊急時の受け入れなど施設側の体制が整わず今年度末までの拠点整備には至っていない。市内法人と協議を進め、次期計画期間に2カ所の拠点整備に取り組むこととしている。

②すでに設置している三原市地域自立支援協議会を活用し、協議会全体の共通課題として来年度以降も整備内容の検討を行っていく。

③居住を支援するための機能を集約する多機能拠点整備型と、地域にお

**答** 新たな三原市障害者プランでは、障害のある人や家族を、情報を受ける側としてのみ捉えるのではなく、情報を発信する側として捉えつつ、障害のある人に配慮し多様な手段による情報提供の一層の拡充を図り、障害の特性に応じたコミュニケーション手段の確保、整備に努めるとしている。とりわけ手話は、ろう者にとって重要なコミュニケーション手段であり、市民が広く手話に対する理解を深めその普及を推進することは重要である。条例化した自治体の調査研究をし、手話を広く普及させるための広報活動も行いながら、互いに尊重し合い共に暮らせるまちづくりの推進に努めて行きたい。

## 手話言語条例(仮称)制定に向けての考えについて

**問** 手話が言語と規定された改正障害者基本法案を受け、手話言語法の制定を求める意見書の提出が全国に広がる中、本市議会も26年6月23日に提出した。こうした流れの中で手話に関する普及啓発、ろう者の権利擁護を進める動きが起こり、手話言語条例を制定する自治体が増えてきている。本市の条例制定への取り組み、考えについて問う。



手話での会話  
女性 「また会いましょう」  
男性 「ありがとう」

平成29年度 高齢者タクシー料金助成券 No. 1276	
助成額 500円 (有効期限 平成30年3月31日)	
利用者氏名	男・女
乗車日時	平成 年 月 日 時頃
乗車料金	割引前料金 円
乗車区間	~
利用事業者 に印を 記入	
※乗務員の方は、上記記入欄に必要事項を記入してください	

他市の高齢者タクシー料金助成券



萩 由美子 議員

タクシー補助券と優待乗車券を  
選択できるようにしてはどうか

**問** 本市でも高齢化は顕著であり高齢者は公共交通機関への依存度が高くなっている。

**答** 本市在住の70歳以上の希望者に敬老優待乗車証を交付しており、1万4500人分6740万円が予算化されているが、この事業の成果と課題はどうか。

路線バスなどの利用が不便な市民からタクシー利用の補助を望む声が出ている。この事業で優待

乗車証とタクシー補助券を選択出来るようにしてはどうか。

**答** 平成28年度実績では対象者の68%に優待乗車証を交付していて、病院受診・買い物物その他、健康づくり・介護予防・生きがいづくり活動への参加にも繋がっている反面、本事業で支援できていない場合や利用が不便な地域もある。選択制にした場合、新たな財源確保が課題となるが有効な方法として参考にしながら研究する。

生活困窮者学習支援  
事業に予算付けすべ  
きについて

**問** 本市は29年度から県立広島大学三原キャンパスの学生ボランティアの協力で生活困窮者学習支援事業を始めているがこ

の1年間の成果と30年度の方角性を問う。  
30年度には予算が計上されていないが、運営費・必要経費は計上すべきではないか。

**答** 年間で14回開催し延べ48人参加した。次年度はさらに参加を促し5月から月2回程度毎月実施する。

今年度学用品を購入し準備していたが生徒が宿題や教科書の学習を希望し活用しなかったため30年度は予算計上していない。中学生やボランティアへの食糧費は国庫補助事業の対象外であり予算化していない。

**問** この事業は学習支援がメインだが居場所づくりの側面も持つ。ボランティアの方からイベント関連の長用が無いと聞いている。子ども達のやる気の為にも運営費を付けてはどうか。また近隣市町では訪問学習や学校との連携を行っているが本市はどうか。

**答** 効果的な事業とするため、教育委員会や学校と一層の連携を図っていく。

総 括 質 問



かめやま ひろみち 亀山弘道 議員

「教育の質」の向上に向けて

**問** 時間外勤務を超えた教職員に対して、労働安全衛生法のとおり措置が取られているか問う。

**答** 市内小中学校に勤務する教職員の勤務時間外の在校時間については、今年度10月の調査によると、1ヵ月間で、40時間以上が小学校199人、中学校が91人、80時間以上が小学校40人、中学校35人である。学校管理医の面談を受けた職員は3人である。

**問** 3人だけというのは、必要が無かったのか、受けられなかったのか、受けられなかったのか。

**答** 医師との面談を積極的に進めるよう指導していく。  
**問** 教職員の不調による児童生徒へのマイナスは、計り知れないものだ。把握できているか。どのように把握しているか。

か。

**答** 教職員が心身ともに健康な状態で勤務することとは、教職員自身にとっても子どもたちにとっても大切である。教職員は子どものために笑顔を心掛けて向き合っている。

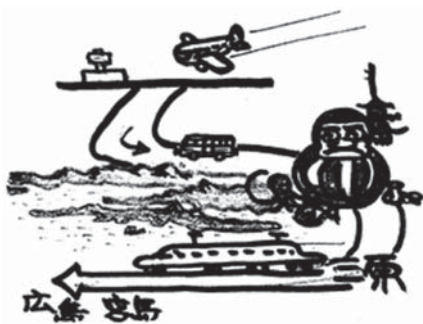
教育委員会としても、業務改善に向けた取り組みに、子どもたちに寄り添い、子どもたちの成長に繋げるための教育環境を整備する観点で取り組む。

2020年東京オリンピック・パラリンピック客を三原へこつて

**問** 2020年のオリンピック・パラリンピック客を三原へ誘うことを検討しているか。  
① OneDay In Mihara パック旅行を事業化できないか。  
② 2年かけて、

パック旅行の事業化のために、行政が中心になって、市民の知恵を出し切る取り組みで、三原の魅力づくりを進めることはできないか問う。

**答** 計画はないが大きなチャンスと捉え、対応を検討する必要がある。  
② パック旅行は、旅行業者に売り込む。  
③ 次期観光戦略プランにおいて、情報発信・受け入れ環境の充実を盛り込む。また、市民参画のワークショップや来訪者のニーズ調査、外国人の印象評価の実施などにより魅力ある観光コンテンツづくりに努める。





あんどう しほ  
安藤 志保 議員

## 高坂自然休養村リニューアル事業について

**問** 本市の施設類型別実施計画のスポーツ・レクリエーション系施設に位置づけられた施設だが、採算性、民営化などの視点について、どのように検討されたのか。

**答** 現在の管理費用を上限に、追加費用を発生させないよう考えている。将来的に自立できるように、民間事業者の発想を生かした自主事業を展開し、収益を上げ、持続的な管理運営も期待できる指定管理者制度の導入について検討する。

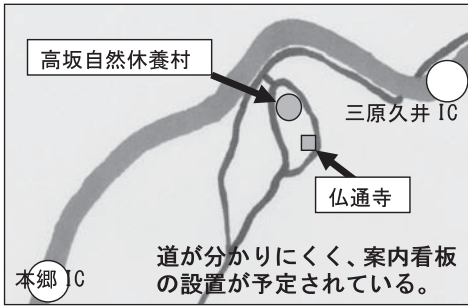
**問** レクリエーション、おもてなし、観光を題目として掲げる施設だ。事業採算がとれるのが望ましい。ソフト事業の独立採算は可能なのか。

今後の投資額が膨らむ心配がある。3年間の事業費1億2千万円が、誘客のためにさらなる投資

が必要とならないか。

**答** 収益事業を含め、施設運営を独立採算で賄うことや、可能であれば維持管理費も賄える、いわゆる0円の委託を目指して指定管理者制度への移行を検討する。

民間事業者が追加投資を行う場合は、国の補助制度などの活用支援は積極的にを行う。市の公共施設整備としての追加の投資は考えていない。



道が分かりにくく、案内看板の設置が予定されている。

**問** 黒字への転換が図れない場合、事業の成否を見きわめて撤退するという判断もあり得るか。

**答** 官民一体となって自立した運営を目指す。廃止か存続かの判断は、その時点での施設の果たしている役割や社会情勢等を見た上で判断したい。

## 不燃物処理工場の更新について

**問** 基本構想では本市として建設する話だったが、組合としての建設に変更され、不信感を抱いている。

**答** 基本計画をつくる中で、建設については世羅町と本市が運営している広域事務組合が一緒になって考えるほうがいと判断した。建設は広域事務組合で行い、管理運営は本市に移管する方向で検討していきたい。

■その他の質問事項  
●平成30年度予算全体と今後の財政見通し

●公共施設マネジメント  
●三原市の橋を長持ちさせる計画

## 総括質問

## 不適切な産廃処理の検証について

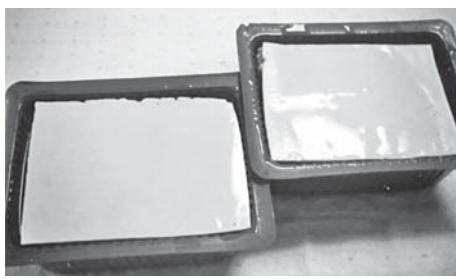


てらだ もとこ  
寺田 元子 議員

**問** 三原市清掃工場へ大手食品製造業者「やまみ」から産業廃棄物が持ち込まれ焼却処分された問題で、広島県と本市による指導がなされたが、

① 解明された事実経過は  
② 食品リサイクル法に触れないか  
③ 工業団地立地にあたり、これまで出した奨励金の額はいくらか。

**答** ① 既に確認し報告しているとおりで。② 食品リサイクル法には違反していない。③ 奨励金



「産廃」として処分すべき製造元のとうふ

める平成29年度の決算剰余金を使って全世帯の引き下げを実施すべきではないか。また、国保は子どもの人数が多い世帯ほど税負担が重くなる。全国では子どもの均等割額の軽減を実施している自治体がある。子育て支援策として、本市でも実施すべきではないか。

**答** 保険税が増税になる世帯は2427世帯で、総額は306万円だ。全世帯への税の引き下げは仕組み上、困難だ。県の連携会議では、子どもの均等割額の軽減制度を国へ求める意見が出ており、本市としても意見を出していきたい。

**問** 「判断が難しい」ではまったく解決にならない。きちんと検証して対応すべきではないか。

**答** 清掃工場で展開検査を行うなど、今後も指導に取り組んでいきたい。

## 全世帯の国保税引き下げを

**問** 新年度の国保税は約2割の世帯で値上げになるようだが、黒字が見込

■その他の質問事項  
●市営住宅の耐震化や建替えを



しちかわ よしあき  
七川 義明 議員

## 平成30年度の施政方針について

**問** 観光行政の課題について新たな観光戦略プランの考え方を問う。

**答** 瀬戸内三原築城450年事業における成果と課題をふまえ、数値目標を定め、平成31年から5カ年の新たなプランを策定する。

**問** 働く場づくりの挑戦について。既存・新規工業団地における雇用実態と見通しについて問う。

**答** 市内の7工業団地37社雇用者数3038人。小原地区15社1910人、惣定地区5社266人、久井地区6社331人、大和地区6社398人、臨空団地1社106人、松浜地区3社27人となっている。本郷地区においては522人の雇用を見込んでいます。

**問** ①新規出店支援事業について問う。②商店街の環境整備について。「駅前東館跡地活用事業」に

合わせた相乗効果を課題とする周辺商店街への対策について問う。

**答** ①新規出店における基盤が安定する期間を必要とするため、改装費補助として上限額を60万円、飲食店については賃貸補助の期間を最長3年とする。②港町三丁目エリアは北側帝人通り商店街と円一大型商業店との

結節点であり、このエリアの商店街としての組織化をめざす。商工会議所と連携をとり国の制度も活用し支援していく。駅前東館跡地活用事業における集客をいかに

周辺商店街に波及できるかが重要である。国が実施する改装費補助、小規模事業者持続化補助金などの支援を行う。また設置

が予定されているエリアマネジメント協議会やまちづくり三原との連携により周辺商店街を含む相乗効果を発揮できるように取り組む。

**問** 新しい三原をつくる協働のまちづくりについて問う。

**答** 市民協働のまちづくりは、住民自治の充実に向けた取り組みの一環として住民組織を協働の担い手として位置づけている。活動の担い手不足・加入者の減少等の課題があり、仕組みづくり、ひとづくり、場づくりを目的とした市の取り組みを行う。



港町三丁目エリア

## 駅前東館跡地活用調査特別委員会中間報告(要約)

本事業については、前議員任期中に設置されていた駅前東館跡地活用調査特別委員会において、実施方針(案)が了承された経緯がある。

本委員会の調査におけるひとつの重要なポイントは、優先交渉権者の選定から、基本協定、事業契約等へと本事業を進めていくうえで不可欠な募集要項(案)、審査基準書(案)、要求水準書(案)(以下「募集要項(案)等」という。)の内容について、判断した点である。

議論を重ね、募集要項(案)等に対する意見集約を図ったが、全会一致には至らなかった。しかしながら、本委員会の責務として、事業着手に向けて一定の結論を示す必要があると判断し、採決によって意思決定することにした。

採決の結果、賛成多数により募集要項(案)等は了とすべきものと決した。

この結果をもとに公募が開始され、平成29年11月10日の締め切りまでに民間開発事業者2グループからの提案があった。その後、提案審査会による審査の結果、「鹿島建設グループ」が優先交渉権者として決定されたところである。

決定された提案内容の説明を受けた後に行われた、委員間討議においては、ホテルをメインとする今回の提案では、にぎわいの創出にはつながらないため、認めることはできない。

本事業の核となる図書館、ホテル、スパー等が連動して、このエリアににぎわいをかもし出す姿がイメージできないなどの意見表明がある一方で、本市の規模や経済状況を考えると、現状では本提案が妥当であり、衰退している駅前周辺の現状を考えると本事業は必要である。また、今までの広場活用では、土日にぎわいはあるが、平日

は人通りが少ない状況があり、年間を通して人が回遊する形ができることは良いことであるなどとして、提案を了とする意見が大勢を占めた。

なお、議論の過程で述べられた委員の意見から、今後の市の取り組みに関して、次のことを要望する。

①駅前東館跡地の広場としての暫定利用期間中、市民主催の多様なイベントがにぎわいの創出の一翼を担ってきた経緯を踏まえ、広場機能の確保を別途検討すること。

②本事業によってにぎわいを創出するために設置が予定されているエリアマネジメント協議会がその目的に資するよう支援していくこと。



# 常任委員会報告

## 厚生文教委員会

### 2月定例会付託議案審査

議第57号「三原市デイサービスセンターさぎうらの指定管理者の指定について」

【要旨】三原市デイサービスセンターさぎうらにおける指定管理者を指定するもの。

#### 【主な質疑の内容】

問 指定管理料の算定の考え方は。

答 平成29年度のデイサービス事業の収支見込み額を算出したところ、約510万円の赤字が出る見込みであること、また、デイサービスセンターの適正な運営に当たっては、現状から人員を1名増員し、地域との交流を図るとする方針が、事業者の事業計画において示され、この人件費分などを勘案し、30年度の指定管理料を1千万

円と算定した。

問 市内の事業所が、指定管理を受けるに至らなかった経緯は。

答 市内の通所系事業所及び訪問系事業所の計66事業所に対し、施設運営に関する意向調査を実施したが、人材の確保が非常に困難であることなどの理由により、市内の事業所からは運営の意向が示されなかった。

#### 【採決】

採決の結果、議第57号ほか2件について、全員一致、提案理由を了とし、原案どおり可決した。



デイサービスセンターさぎうらの様子

## 経済建設委員会

### 2月定例会付託議案審査

議第60号「三原市工場立地法地域準則条例制定について」

【要旨】工場立地法の規定に基づき、本市の特定の区域における緑地等の面積割合に関する準則を定めるため、条例を制定したいとするもの。

#### 【主な質疑の内容】

問 緑地面積率等の緩和による効果は。

答 これまでは企業が生産施設を拡大していこうとすると、緑地面積の規定によって、一定以上の生産施設ができないという制約があったが、条例の制定により、企業において、これまで拡大が困難であった部分も生産施設を設置することが可能となり、設備投資がしやすくなる。

#### 【採決】

採決の結果、議第60号ほか5件について、全員一致、提案理由を了とし、原案どおり可決した。

## 総務財務委員会

### 2月定例会付託議案審査

議第55号「三原市駅前東館跡地活用事業設計・施工一括請負契約の締結について」

【要旨】駅前東館跡地に公共施設として、総延床面積3090平方メートル、3階建ての図書館及び671平方メートルの広場を整備し、民間施設としてホテル棟及び商業・駐車場棟を整備する駅前東館跡地活用事業（以下「本事業」という。）のうち、公共施設の整備に関するもの。

#### 【主な質疑の内容】

問 本契約締結後、公共施設部分の工事内容に変更が生じた場合は、契約金額も変更となるのか。

答 16億7千万円という契約金額は、公共施設の整備にあたって、市が民間事業者を求める施設や性能（サービス水準）を示した「要求水準書」等をもとに、事業者が積算した金額であり、市が示した負担限度額と同額で

ある。今後、市から新たな変更や追加を要望しない限り、契約金額に変更はない。

#### 【採決】

採決の結果、議第55号ほか1件について、起立採決の結果、賛成多数をもって、原案どおり可決した。

付託議案審査後、「リニア中央新幹線工事」に係わり独占禁止法違反、不当な取引制限の疑いで、本契約議案の相手方である「鹿島建設（株）」の担当部長が逮捕される事案が発生した。本委員会は、3月6日に再度開会し、本事業契約に与える影響等について調査を行った。

市から契約に向けた対応について、次のとおり説明があった。

①建設請負業者に対し、入札参加資格停止等の処分を行う場合は、指名除外の確定が前提となるが、現状では指名除外と判断するには至らないこと、②現在交わしている仮契約の条項には、今の状況において市として仮

契約を解除する理由がないこと、③指名除外となる場合でも、今回は随意契約であるため契約が可能であること、以上の3点から、市としては現状において、本契約を解除する理由はないことから事業進捗を図る考えであり、今回上程した議案について議決に向けて進めることに問題ないものと考えている。

問 本契約締結に法的な問題がないことは理解したが、今回の逮捕を受けて、本契約に対する市民感情も無視できないものと考えられる。市として、どのような市民感情にはどのように対応していくのか。

答 鹿島建設グループは、本事業発生後も真摯に事業を進めることで、本市の活性化に向けて懸命に取り組んでいきたいという意思を示している。また、本市としてもPPP事業として実施する本事業が中心市街地活性化に資するものとなるよう、懸命に取り組むことで市民感情に添えていきたい。

# 市民と議会を



第4回  
三原市議会  
議会報告会

開催しました！

# つなぐ意見交換会



まず始めに、全体で、議会の仕組みと役割について、説明させていただきました。  
その後、3つの常任委員会ごとに分かれて、各テーマに沿って意見交換を行いました。

平成30年1月28日(日)に、三原市議会として、第4回目の議会報告会を行いました。  
雪が舞う寒い朝で、心配しましたが、107人の方々が、市議会仮庁舎に集まってくださいました。

## 全体質疑

**【参加者より】** 議会へ請願したくても議員が紹介議員を受けてくれない。事務局で受け付けてほしい。

**【議会より】** 条例、法律で決まっているので、議員なしにすることはできない。

**【参加者より】** 議会基本条例には「議会が保有する情報を自由に閲覧できるようにする」とある。どこまで進んでいるのか。

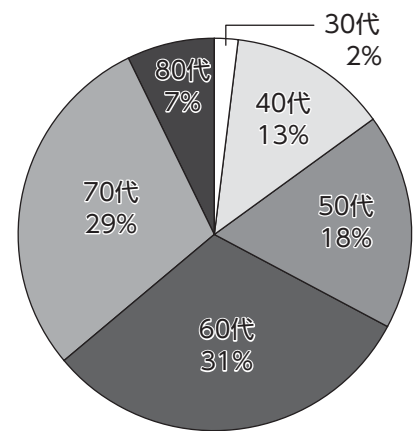
**【議会より】** できるだけ早く取り組んでいきたい。

**【参加者より】** 駅前へ図書館を作ることが広報みはらに出たが、「広場を残すか、図書館を作るか」と市民にきいてほしかった。今、広場で子ども達が遊んでいて、建物がなくても、触れ合う、話ができる場になっている。意見交換会というなら、もっと根本から変えてほしい。

**【議会より】** 市民と特別委員会の直接対話ができているが、議員が市民意見を反映しながら特別委員会では合意を進めてきた。

**【参加者より】** 意見交換会を、中山間地域と市中心部とで、行ってほしい。

## 参加者の年代構成 (アンケート回答者)



議会だよりでの報告は、概要のみとさせていただきます。この他にたくさんいただいたご意見やアンケート結果は、ホームページに掲載していく予定です。

<http://www.city.mihara.hiroshima.jp/site/gikai/list330-1056.html>



三原市議会ホームページ  
QRコード



①公共施設マネジメント

～公共施設の新しい未来を一緒に作る～

駅前東館跡地に整備予定の図書館について	
参加者より	議会より
近年の図書館ニーズは、レファレンスサービスの充実や子育て支援、居場所づくりなど様々な役割があり、それを考慮してほしい。	これからのあり方については、いただいた意見を参考にしていく。
図書館は指定管理前提でなく、市民の利便性を考え、意見を聞く場を設けるべき。	意見として伺い、駅前東館跡地活用調査特別委員会で議論する。

②定住促進のあり方

～みんなで作る 住みやすいまち～

参加者より	議会より
ペット数は15歳以下人口より多い。小学校跡地のドッグランとしての活用や、ペット同伴できる避難所など、ペットと住みやすいまちというPRで移住が増えるのでは。	新しい視点です。どのような方法がいいか具体的には分かりませんが、斬新なご意見と受け止め、検討していきたい。

厚生文教委員会

子育て支援のあり方 ～子育てしやすい環境づくり～

参加者より	議会より
放課後児童クラブの指導員不足について、どのように対応されるか。	指導員の有資格者が不足している。1教室で2人のうち1人は有資格者である必要がある。無資格者は県の研修を受ける必要があり、その費用補助を市に要望している。

参加者より	議会より
子育て支援センターに來ない人の対応はどのようにしているか。	母子保健推進員のなり手が少なく、「すくすく」と連携し、保健師訪問等で対応している。

参加者より	議会より
児童館は、これからどうなるのか。	市の計画では、移設の方向である。

瀬戸内三原 築城450年事業の成果と課題

～これからの三原市の観光について～

経済建設委員会

市民学芸員制度について	
参加者より	議会より
制度が1月で終了した。継続できないか。	十分な把握ができていない。確認してみる。
学芸員がまとめたものは、貴重な三原の資料であり、財産であるが、保管されたまま公開されていない。活用してもらいたい。	三原には宝が多くあるが、活かされてない。450年事業を契機に、これから繋げていくための対応が必要である。

観光施策の協力体制や情報発信について	
参加者より	議会より
動きがバラバラに感じる。地域資源を最大限活用するには、連携プレイが必要だ。	市内に3つある観光協会の1本化についても賛否があるが、建設的に議論していきたい。
関係部署の意見交換の機会が必要だ。	定期的に行っている。
県立大学の若者と連携して情報発信を。	若者の発信は魅力的であり、検討していきたい。

【全員賛成のもの】

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
議第2号	平成30年度三原市ケーブルネットワーク事業特別会計予算	3月20日	原案可決
議第3号	平成30年度三原市港湾事業特別会計予算	3月20日	原案可決
議第4号	平成30年度三原市駐車場事業特別会計予算	3月20日	原案可決
議第5号	平成30年度三原市土地区画整理事業特別会計予算	3月20日	原案可決
議第6号	平成30年度三原市公共下水道事業特別会計予算	3月20日	原案可決
議第7号	平成30年度三原市漁業集落排水事業特別会計予算	3月20日	原案可決
議第8号	平成30年度三原市農業集落排水事業特別会計予算	3月20日	原案可決
議第9号	平成30年度三原市小型浄化槽事業特別会計予算	3月20日	原案可決
議第11号	平成30年度三原市国民健康保険(直営診療施設勘定)特別会計予算	3月20日	原案可決
議第12号	平成30年度三原市後期高齢者医療特別会計予算	3月20日	原案可決
議第13号	平成30年度三原市介護保険特別会計予算	3月20日	原案可決
議第14号	平成30年度三原市東町財産区特別会計予算	3月20日	原案可決
議第15号	平成30年度三原市中之町財産区特別会計予算	3月20日	原案可決
議第16号	平成30年度三原市沼田西町松江財産区特別会計予算	3月20日	原案可決
議第17号	平成30年度三原市小泉町財産区特別会計予算	3月20日	原案可決
議第18号	平成30年度三原市本郷町本郷財産区特別会計予算	3月20日	原案可決
議第19号	平成30年度三原市本郷町船木財産区特別会計予算	3月20日	原案可決
議第20号	平成30年度三原市本郷町北方財産区特別会計予算	3月20日	原案可決
議第22号	三原市部等設置条例の一部改正について	3月20日	原案可決
議第23号	三原市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	3月20日	原案可決
議第24号	過疎地域自立促進計画の変更について	3月20日	原案可決
議第25号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画(八幡辺地)を定めることについて	3月20日	原案可決
議第26号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画(鹿群・馬井谷辺地)を定めることについて	3月20日	原案可決
議第27号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画(向田辺地)を定めることについて	3月20日	原案可決
議第28号	三原市米粉用米貯蔵施設設置及び管理条例制定について	3月20日	原案可決
議第29号	三原市フィッシャリーナ設置及び管理条例の一部改正について	3月20日	原案可決
議第30号	三原市法定外道路、河川等の管理に関する条例及び三原市道路占用料徴収条例の一部改正について	3月20日	原案可決
議第31号	三原市手数料徴収条例及び三原市消防手数料徴収条例の一部改正について	3月20日	原案可決
議第32号	財産の無償貸付けについて	3月20日	原案可決
議第35号	広島県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	3月20日	原案可決
議第36号	三原市介護保険条例の一部改正について	3月20日	原案可決
議第37号	三原市指定地域密着型サービス事業者の指定に関する事項並びに指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	3月20日	原案可決

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
議第38号	三原市指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する事項並びに指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	3月20日	原案可決
議第39号	三原市指定居宅介護支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例制定について	3月20日	原案可決
議第40号	三原市指定介護予防支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	3月20日	原案可決
議第41号	三原市手数料徴収条例の一部改正について	3月20日	原案可決
議第44号	平成29年度三原市港湾事業特別会計補正予算(第1号)	3月9日	原案可決
議第45号	平成29年度三原市駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	3月9日	原案可決
議第46号	平成29年度三原市土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	3月9日	原案可決
議第47号	平成29年度三原市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	3月9日	原案可決
議第48号	平成29年度三原市漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	3月9日	原案可決
議第49号	平成29年度三原市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	3月9日	原案可決
議第50号	平成29年度三原市小型浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)	3月9日	原案可決
議第52号	平成29年度三原市国民健康保険(直営診療施設勘定)特別会計補正予算(第1号)	3月9日	原案可決
議第53号	平成29年度三原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	3月9日	原案可決
議第54号	平成29年度三原市介護保険特別会計補正予算(第3号)	3月9日	原案可決
議第57号	三原市デイサービスセンターさぎらの指定管理者の指定について	3月9日	原案可決
議第58号	三原市ひとり親家庭等医療費支給条例等の一部改正について	3月9日	原案可決
議第59号	三原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	3月9日	原案可決
議第60号	三原市工場立地法地域準則条例制定について	3月9日	原案可決
議第61号	地方自治法第207条等による実費弁償条例の一部改正について	3月9日	原案可決
議第62号	三原市都市公園及び公園施設の設置基準を定める条例の一部改正について	3月9日	原案可決
議第63号	三原市営住宅設置、整備及び管理条例の一部改正について	3月9日	原案可決
議第64号	都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例及び三原市新倉町木之浜地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について	3月9日	原案可決
議第65号	市道路線の変更について	3月9日	原案可決
報第1号	三原市税条例の一部改正の専決処分に対し承認を求めることについて	2月27日	承認
同第1号	三原市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	3月20日	同意
同第2号	三原市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	3月20日	同意
同第3号	三原市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	3月20日	同意
発第1号	三原市議会委員会条例の一部改正について	3月20日	原案可決

【賛否が分かれたもの】

議案番号	件名	議決年月日	議決結果	高原 伸一	木村 尚登	田中 裕規	杉谷 辰次	宮垣 秀正	平本 英司	正田 洋一	安藤 志保	萩 由美子	児玉 敬三	岡 富雄	徳重 政時	伊藤 勝也	亀山 弘道	政平 智春	新元 昭	高木 武子	陶 範昭	加村 博志	中重 伸夫	岡本 純祥	梅本 秀明	分野 達見	七川 義明	寺田 元子	仁ノ岡 範之		
議第1号	平成30年度三原市一般会計予算	3月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	退	○	○	退	○	○	○	退	○	○	○	○	×	議	
議第10号	平成30年度三原市国民健康保険(事業勘定)特別会計予算	3月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議
議第21号	平成30年度三原市水道事業会計予算	3月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議
議第33号	三原市国民健康保険条例の一部改正について	3月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議
議第34号	三原市国民健康保険税条例の一部改正について	3月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議
議第42号	三原市水道事業給水条例の一部改正について	3月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議
議第43号	平成29年度三原市一般会計補正予算(第5号)	3月9日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議
議第51号	平成29年度三原市国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算(第3号)	3月9日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議
議第55号	三原市駅前東館跡地活用事業設計・施工一括請負契約の締結について	3月9日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	議	
議第56号	財産の無償貸付けについて	3月9日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議
同第4号	三原市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	3月20日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	議
諮第1号	人権擁護委員の候補者に関する諮問について	3月20日	異議なしと決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議

賛成：○ 反対：× 退席：退 本会議欠席(早退を含む)：欠 議長：議〔議長は採決に加わりません〕

平成30年6月定例会 予定表 (平成30年3月20日現在)

月	日	曜	開会予定時刻	会 議
6	5	火	10時～	委員長会議(常任・議運)
			11時～	議会運営委員会
	11	月	10時～	本会議 開会
				議会運営委員会
	13	水	10時～	本会議 一般質問
	14	木	10時～	本会議 一般質問
	15	金	10時～	本会議 一般質問

月	日	曜	開会予定時刻	会 議
6	18	月	10時～	総務財務委員会
			19	火
	20	水	10時～	経済建設委員会
	21	木	10時～	補正予算特別委員会
	25	月	13時～	議会運営委員会
14時～			本会議	

※都合により日程を変更することがあります。

編集委員の「びげやき」

4月7日に、第4回「白竜湖花火inだいわ」が開催されました。

4月に打ち上げられる花火大会は県内では無く、全国でも珍しい大会です。白竜湖湖畔に咲く千本桜に加えて、夜空に色鮮やかに輝くこの花火は、来場された方の心に安らぎを与えてくれます。地域にも元気を与えてくれる花火大会、長く続けていくことを願っています。

議会広報部会員

杉谷 辰次

萩由美子・平本英司・木村尚登  
杉谷辰次・宮垣秀正・安藤志保  
児玉敬三・亀山弘道・政平智春  
岡本純祥・分野達見

※「市議会だより」は、市役所1階ロビー・各支所・サンシープラザ・中央公民館・各地のコミセンでも配布しております。

三原市議会広報広聴委員会

三原市館町二一五一一

TEL 67-6137

FAX 63-4545

### 三原をきれいに心もきれいに

私に通っている木原小学校では、町をきれいにする活動を行っています。その中の一つに、年に一度行われる、クリーン大作戦があります。それは、自分たちでゴミぶくろをもつていき、通学路におちているゴミをとり、きれいにする活動です。

私は、この活動をする中で、道におちているゴミがへるとともに、ポイすてをする人がへると思います。私たちの活動を見た人は自分を見直し、ポイすてはだめだということを再確認することでポイすてをする人がいずれ、いなくなりま

す。ポイすてがなくなるためには、自分からゴミひろいを実行するべきです。クリーン大作戦は、学校の行事であり、先生に言われてやっています。しかし、クリーン大作戦以外でも、ゴミひろいをするので、ポイすて防止につながります。

私は、木原小で行っている活動が三原にもつながり、三原の道も人の心もきれいになることを望んでいます。そして、外国の方やほかの地域の方にも三原はきれいな町だと思っただけのように、そこを誇りたいです。



# わがまちに望む夢

三原の未来を担う子ども達の声を紹介します  
— 連載第33回 —

### 獅子太鼓でつなぐ幸崎の心

私が住む幸崎にはたくさん誇れるものがありますが、その中でも地域の人たちと最も深い関わりを感じるのが郷土芸能「獅子太鼓」です。獅子太鼓は、毎年三月に行われる能地春祭りでも披露されています。祭りの中心となる青年団の演奏は息もぴったりで、とても迫力があります。私たちが幸崎中学校の生徒たちで運営している「郷土芸能班」の演奏も負けてはいません。郷土芸能班は、獅子太鼓という幸崎の素晴らしい伝統を残していこうという目的で、四十一年以上に本校で立ち上げられました。部活動と兼部しながら、週一回の活動時間を有効に使い、部長を中心に三年生が後輩たちを指導しながら練習に励んでいます。そうやって私たちは「獅子太鼓」を長い間受け継ぎ、守ってきました。

昨年も能地春祭り以外でも様々なイベントに参加し、演奏を披露しましたが、特に印象深かったのは三原城築城四百五十年行事の締めくくりとなるクロージング・セレモニーに出演したことです。市を挙げての大きな式典で、多くの観客を前に発表するのはとても緊張しました。でも、幸崎から見に来てくださった青年団の方々が、「良かったよ!」と言ってくださったり、「獅子太鼓を見て感動しました」と観客の方が声をかけてくださったりしたので、本当にうれしかったです。大きな達成感と、郷土芸能班でやってきて良かったという満足感を心から感じる事ができました。そして、こうやって「獅子太鼓」は受け継がれていくのだとも感じました。また私たちが長い間受け継ぎ、守ってきた郷土芸能班の活動が、郷土の伝統を守る役割を担っていることを誇らしく思いました。この活動を通して多くの方々と協力し、地域との絆を深めることにもつながっています。この春も私は卒業しますが、きっとこの思いを後輩たちがつないでいってくれると思っています。



※学年は投稿時の学年です。